平成25年 6月 1日発行

# 複写 NEWS

http://kinkifukusha.jp
No.242

本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 1 丁目 5-6
TEL06-6201-4766・FAX06-6201-4768
発行責任:楠本雅一
監修責任:桑田靱比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:knk-fuku@kinkifukusha.jp

## 「第 50 期通常総会」・５０周年「感謝の集い」を開催

平成２５年５月２９日近畿複写産業協同組合「第 50 期通常総会」並びに近畿複写産業協同組合創立５０周年「感謝の集い」を大阪ステーションシティ　ラグナヴェールプレミアにて、開催致しました。それでは、５０周年「感謝の集い」より先に報告させて頂きます。

### 「感謝の集い」御挨拶

本日は、近畿複写産業協同組合創設５０周年「感謝の集い」にお越しいただきまことに有難うございます。組合員様、賛助会員様はじめ、複写業界の全国の理事長様、また複写連理事ならびに委員の皆様、そして私に業界とは何かを御指導くださった諸先輩方の御臨席の栄を賜り、本会に花を添えていただきました事、心より御礼を申し上げます。

また、先ほどの総会にてもう１期理事長をするようにとのご下命をいただきました。業界の大きな変革期に理事長の任をお受けすることの重大さを認識しています。微力ではございますが「則天去私の心」で業界発展のため、皆様方の御協力をいただき任期の二年間を務めさせていただきたく存じます。よろしくお願いします。

さて、本来であればこのような「晴の場」では功労のあった方々の表彰式が行われます。しかし今回は行いません。たしかに、個人を見れば多くの方々に組合は支えられて５０年を積み重ねてまいりました。それは間違いのない事実です。が、それ以上にこの歴史を支えていただいたのは組合員様と御客様であります。その事業を支えて下さった賛助会員様であります。さらには、組合員企業に働く数知れぬ多くの従業員様や賛助会員の御担当者のお陰でございます。改めて、共に働いて下さった多くの方々に、心からの感謝を捧げて本会を開式したいと存じます。

近畿複写産業協同組合は昭和 21 年に設立された「近畿青写真懇話会」を源流としています。その後、幾度か組織の改編と名称変更を繰り返しながら、昭和 38 年（1963 年）5 月 16 日に中小企業組合法に則って「近畿工業写真協同組合」として設立されました。組合創立記念日は 7 月 1 日とされています。昭和 60 年（1985 年）に、上部団体である「全日本青写真工業連合会」（全青連）が法人化し、「日本複写産業協同組合連合会」（複写連）と改称されました。それに合わせて「近畿工業写真協同組合」も「近畿複写産業協同組合」へと改称しました。

青写真から複写産業へ。名称の変遷は業態の進化を表すものです。戦後の急速な国土復興政策によって一気にインフラ整備がすすめられました。図面が大活躍しました。その複写サービスの前後の工程を業界の幹としながら、各社のお客様の御都合により様々な事業の枝を四方八方へと伸ばしました。複写業の定義は難しいのですが、その大きな木そのものを「複写業」と呼んでいいのかもわかりません。幹を定義しても、枝を定義しても正しくなく、その姿そのものが複写業界でした。そして業界の根っ子に賛助会員様は養分を供給して下さり、業界文化やDNAを蓄積していきすくすくと育ちました。

組合が認可された1963年には、黒部第四ダム（黒四ダム）が１６０名を超す大きな犠牲と長い年月をかけて完成しました。関西圏の電力需要を担い、阪神工業地帯は活況を呈しました。その年の11月には日米間の宇宙中継の実験が行われました。最初に飛び込んできたニュースはケネディ大統領の暗殺です。アメリカのダラスと言う地名すら知らないところでの事件が一瞬にして日本の茶の間に伝えられる。この時からすでに高度情報化社会は始まっていたと言えます。

翌年1964年10月1日に東京―大阪間で新幹線が開通しました。その開通は10月10日の東京オリンピックに間に合いました。

関西圏では1970年の6400万人を集めた大阪万博が記憶に残ります。

その後に景気の変動はありましたが、世の中が不況になれば公共投資で景気浮揚を計り図面が生まれる。景気がよくなれば民需が活性化して図面が生まれる。そのような恵まれた環境でした。

私達の業界は日本で唯一図面サービスを提供できる業界です。世間では知られにくい存在なのですが、谷間に育った大樹と言えるかもしれません。

図面＝お客様、お客様＝図面と言う図式がいつの間にか、業界の根っ子に定住しました。私達は「青写真から複写産業へ」と業態革新をしてその価値を高めながら、その強みを図面＝お客様という図式に当てはめていました。そのお客さまは、まもなくバブルの崩壊と失われた20年と共に縮小していきました。

図面＝お客様という図式は弱みとなりました。　顧客と運命を共にするのですか。

並行して急速にICTが普及しました。お客さまから求められること、仕事そのものが変わりました。技術や商品の短寿命化も進行しました。今後、私達の利益の源泉である商品やサービスが次から次へと移っていくことが予想されます。こういう状況の下、大切なことは顧客です。自社のイノベーションにより新しい事業が出来た時に真っ先に提案できる顧客リストを増やすことが生き残りの条件です。

前山田体制のなかで複写連改革プロジェクトは着々と進められました。複写連改革と言いながら、その中味は業界全体の業態革新運動にほかなりません。改革のマスタープランが作成され、その実行は新森下体制へと引き継がれました。

縮小する業界のなか、限られた資源をいかに活用するのかの議論が活発に行われました。その間に業界調査も二度にわたって実施されました。議論と調査から、複写業界共通の成長領域にフォーカスすることが重要との結論を得ました。

「POD市場の創造と拡大―そして顧客の創造」という複写連事業コンセプトが作られました。

プリント・オン・デマンド（POD）の「オンデマンド」という言葉は私達の業界の根っ子に在るものです。図面複写サービスを原点とするオンデマンドこそ私達の強みです。

コンセプトの実行と実現にあたり大切なことは、地域と中央の役割分担と連携です。地域（協同組合）ではPOD市場創造が可能な企業へと進化するための教育が中心となるでしょう。中央（複写

連）においては、地方の諸事業のサポートと中央の賛助会員様と共に市場創造の具体的活動です。そのひとつとして、業界が共有できるテキスト作りにすでに取り組んでいます。

「顧客の創造」の実行と成果を得るには、一社一社だけでは困難を伴います。

５０周年の節目の年を迎え思うことは、自社だけでとか、地域だけで解決できることは少なくなり、業界と賛助会員、また地域と全国の組織、地域内の組合員同士など、それぞれとの互恵的連携が重要だということではないでしょうか。グローバルにはオンリーワンと言う嵐が吹きすさんでいますが、互いに相手を思いやる互恵的連携こそが日本型企業・日本型業界と言えるのではないでしょうか。そこに業界団体の存在意義があります。

近畿複写産業協同組合５０周年の節目の年を迎え、仲間達と共に新たな次の節目を迎えたいものであります。そのためには、業界を取り巻く方々とのより一層の連携の強化と、私達の業態変革の覚悟と実行が重要であります。新たな節目へと成長するために、感謝の集いの本席において、ご列席の皆様方の御支援と御協力を伏してお願いするものであります。

結びの言葉となりますが、多くの方々に御参集いただきました事、改めて組合理事を代表して厚く御礼を申し上げます。

そして、本日ご列席の皆様方の益々の御健勝と御社業の御繁栄を御祈念申し上げまして感謝の御挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

平成２５年５月２９日

近畿複写産業協同組合
理事長　楠本雅一

**来賓ご挨拶　大阪府中小企業団体中央会様**

**専務理事　山口春夫様**

近畿複写産業協同組合 50 周年を迎えられまして、全国より集まり盛大に「感謝の集い」が開催され誠におめでとうございます。岡本会長のご祝辞を代読させて頂きます。

近畿複写産業協同組合が創立 50 周年を迎えられましたこと心からお喜び申し上げます。

貴組合は昭和 38 年に業界の振興発展と組合員の健全な発展を図る為に設立され、以来激動する社会経済情勢の中、組合員の強固な結束の元、共同受注事業、共同購買事業、最新の機械や技術に関する講習会の開催、組合ホームページや複写ニュース等による情報発信など諸事業を積極的に展開され、組合員の経営安定と繁栄に努めておられます。これもひとえに　楠本理事長始め、歴代役職員の方々の献身的なご努力、組合員プランの事業活動の賜物であり、心より敬意を表する次第であります。

さて、昨年末に、安倍政権が誕生し、財政制作、金融支援、成長戦略の 3 本の矢、いわゆるアベノミクスを掲げ、日本経済再建のための政策を次々と打ち出されたことにより、円安が進行し、功を奏し、株価も大きく上昇するなど、企業の景況感も改善傾向にあります。しかしながら、円安に伴う原材料や電気料金の値上げなど、景気の下向きの様相も懸念されるなど、先行き不透明な情勢であり、依然として厳しい経営環境が続いております。政府の経済対策が功を奏し、今年こそ景気

回復の年とならんことを強く望むところでございます。

近畿複写産業協同組合の皆様方のおかれましては、この記念すべき創立 50 周年を契機にこれ迄の実績と経験を活かされ組合相互の連携をより一層深められまして、この難局を乗り越えられ、更なる飛躍発展を遂げられますよう、心より祈念申し上げる次第でございます。

中央会と致しましても、組合や組合員の抱える課題解決の為の組合事業、向上支援事業等、会員サービスの充実に全力を尽くしてまいる所存でございます。今後とも皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに当たりまして、貴組合の益々のご発展と貴組合員の皆様方のご健勝ご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉と致します。

**来賓ご挨拶　リコージャパン株式会社 様**

**常務執行役員　　坂主智弘様**

近畿複写産業協同組合創立 50 周年誠におめでとうございます。日頃は弊社製品を長くご愛顧賜りまして有難うございます。又、弊社社員が皆様方の各社にお邪魔させて頂き、皆様方若しくは社員の皆様方にお世話になっております。深く厚く御礼申し上げます。

昭和 11 年に理研感光紙株式会社としてリコーは、創業致しました。1936 年でございます。そして 2 年後 1938 年昭和 13 年理研光学工業に社名変更致しました。生業は感光紙製造販売。これを創業者市村氏が立ち上げて、皆様方に大変御指示を頂いて、戦後を超えても長い間ご愛顧賜って、古い歴史の中で私達は、生活をさせて頂いております。

リコーの歴史を申し上げたいのではなくて、昭和 38 年に組合様が出来た年に、私どもは社名を株式会社リコーに変更しております。慣れ親しんだ社名はこの組合様と共に歩んだという事になります。皆様方に長い間御指示を頂き、また、叱咤も頂き激励も頂き、私共も創業 77 年を迎えることが出来ました。

理事長のお話しの中の「さまざまの業界へのチャレンジ」を積み重ねての現在がある。リコーはその中のどことどこにお役に立ちできたのだろうか。感光紙のところではお世話になって参りましたけれども、その中は、速いスピードで変化し、お客様の嗜好もお求めになる物も次々と変わって参ります。そんな中で次々と新しい業界にチャレンジして行かなければならない。それは間違いのない事実だと思いまして、賛助会員 3 社とも同じ気持ちだと思います。

新たな業界のチャレンジを共に汗をかき知恵も出し、体を動かし、何とか業界の発展を遂げられます様しいては、この組合各社の皆様のご発展が叶う様に努めて参りたいと思っている次第であります。

最後に皆様方のそれぞれのご健勝と各社のご発展を心より祈念申し上げます。本日は誠におめでとうございます。

**来賓ご挨拶　キヤノンマーケティングジャパン株式会社様**

**上席執行役員　　久保邦彦様**

本日は、楠本理事長・近畿複写産業協同組合組合員の皆様、50 周年

本当におめでとうございます。

昭和 38 年ということは私がまだ幼稚園に通っている頃から、この組合が永遠と積み重ねてきた歴史がある、本当にこういうおめでたい場に初めて参加させて頂きました事を有難く思っております。大阪の場合には、スピーチをするには「笑いを 3 回取れ」というハードルがあるという風に聞いておりましたが、そういう雰囲気ではないので真面目なお話だけ今日は、させて頂こうと思っております。

私ども賛助会員も今熾烈な時代に突入しております。おそらく今日、北海道・九州・沖縄からも全国の理事の責務を全うされている皆様がご参加されていると思いますが、少なくとも間違いなく右肩上がりで絶好調だという状況ではないのではないかと思います。ただ、その中で皆さんと一緒に我々賛助会員がどうやってこの難局を乗り越えそして勝ち残っていくかという事がこれからのテーマでないかと思います。

先ほど楠本理事長のお話しでは、「お客様のデーターをより沢山持とう」、本当に大事なことだと思います。そして、賛助会員の今取り組んでいる事もやはりお客様の課題をしっかりと把握しようという事をおそらく各社努めていると思います。やはり我々が勧めたいもの、ビジネスしたいものやりたいものをお勧めするだけではお客様は、「うん」と言って頂けない時代に入りました。お客様が何を求めているかという事を本当に真剣に理解し把握し、そして、それに応える時に初めて、利益有るビジネスが生まれてくると考えております。そういったことを皆さんと一緒に取り組んでいけたらいいなと考えております。

日頃市場では賛助会員は醜い争いを繰り返しておりますが、そういう時代はもう終わったのではないかと今日はふと思ってしまいました。共倒れしては意味がないと、我々も思っております。業界自体をいい業界として、複写産業の皆様と成長していく為に、我々も時に譲り合い、時に情報共有して協業しながら進めていくべき時代に入ったのだろうという風に思っております。

そしてこの協同組合という組織がある意味、存在というのはおそらく、全国で 1 件でも 1 社でも成功した大事な事例を全国で共有して、全国の協同組合が同じ様に成功の事例を横展開して、業界全体を盛り上げていけるようなそういう動きが出来れば、真の協同組合として複写連の役割へも繋がるのではないでしょうかと思っています。

簡単ではございますが、近畿複写産業協同組合が、次の 70 年そして 80 年 100 年永遠に成長していくことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせて頂きます。本日は本当におめでとうございました。

**来賓ご挨拶　富士ゼロックス㈱富士ゼロックス西日本㈱様**

**執行役員及び代表取締役社長　　米山　俊治様**

楠本理事長、会員の皆様方本当に創立 50 周年おめでとうございます。

ちょうど社名を変えて 50 周年にあるという話がございましたが、私ども富士ゼロックスも年度は違いますが昭和 38 年 2 月に会社が創立されております。そういう意味で昨年我々も 50 周年を迎えました。ちょうど 50 年前というのは近畿複写産業協同組合の場合は法人組織として設立されたという形をとったという事ですが、戦後直後から活動されていて、組織を作り、協同組合を作るに当たり、やはり複写サー

ビスとしての事業が拡大をし、そして社会から認められて、もっとさらに進歩進化発展する為に、おそらく皆さんと手を取り合えながらやる必要性が生じて、こういった組織になったのではないかと思います。私共も微力ながら一緒に活動させて頂いて何らかの価値を提供できたのではないかと思います。

実は我々は、機器の製造開発に当たり、皆様方の意見をかなり取り入れてきました。その意味では、我々の社会で認められているものは、正に皆様方からいろいろ教えて頂いた、そして一緒に物づくりをしてそして、お客様に価値を提供してきたこの50年の歴史ではないかと思っております。我々もマーケティングそのものが、昔は物を作って、物をいかに売るかというマーケティングでしたが、徐々に使われる人のニーズ、消費者のニーズがどういうものなのか、そこに答えようとそしてニーズに対する対応という形に変わってきました。今は、もっと発展して、その消費者だけではなくて、その人の或いは、その会社の社会的な存在価値、或いは、その会社が持続する為に或いは、競争力をつける為にどういう価値が必要なのか、我々のマーケテイングもそのお客様の社会性を高める為にどうするか、そういう次元に今変わってきていると思います。

今、50年迎えてこの組合も今一つの大きな節目を迎えていると思います。理事長からもＰＯＤという言葉が出ました。やはり新しいそういう価値を提供されるお客様は、社会でどの様な価値を持ち続けるのか、そこに対するお手伝い或いは、ビジネスとして今後近畿複写産業協同組合に果たす役割というのは大きいと思います。そこに我々3社の賛助会員も色々な意味で力を御貸しして、我々も一緒に発展する様な事を次の50年に向けて第一歩としてこれから築いていければと思います。

さらに 50 年に向けて、これから第一歩を印す時だと思って、更なる我々の研鑽、組合員様の研鑽、新しい形での組合活動としての発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせて頂きたいと思います。本当におめでとうございました。

**乾杯のご発声　日本複写産業協同組合連合会**

**会長　　森下修至様**

本日は、近畿複写産業協同組合 50 周年の「感謝の集い」ということでお呼び頂きまして有難うございました。又、全国から我々の仲間、そして賛助会員の皆様にご参集頂きまして心より御礼申し上げます。組合の方々のご苦労というのは、我々も同じ様に組合を運営する立場でよくわかります。特に、今回 50 周年を迎えるという事で色々とメーカー様からご挨拶がありましたけれど、ここ迄、大変御苦労があったのではないかと思います。今日は、立派な会場で多くの方にお集まり頂く中で、この様な集いが持てたという事は、近畿複写産業協同組合皆様のご努力の賜物だと思っております。これから、我々業界が何とか発展できる様に、今日ご来場の方々の応援とこれから色々な形でのご努力をお願いしたいと思います。

「昭和歌謡とＪＡＺＺで綴る５０年」 入江美香様・大石浩之様・魚谷のぶまさ様・田中ヒロシ様・井上洋介様・河村理事

我々業界より河村理事と名古屋より応援下さった井上様（㈱ウエルオン）

ヌーヴェルボア

ニューヨーク帰り(?)飛び入り出演の小林雅春様

ご歓談（50 年の歩み投射）

賛助会員様ご紹介（敬称略）

| | |
|---|---|
| (有)エムアールデジタル | 阿部泰士様 |
| 桂川電機㈱ | 島谷実様・西村孝太郎様 |
| ㈱きもと | 伊藤泰三様・本岡直樹様 |
| キャノンＳ＆Ｓ㈱ | 松井秀和様・玉川裕隆様・上野洋様 |
| ㈱共同紙販ホールディングス | 木村修様・福永勝宏様 |
| コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱ | 深澤哲也様･浅田忠様・治田時彦様 |
| 桜井㈱ | 長谷川 洋行様 |
| ダイヤミック㈱ | 中山直幸様 |
| 富士ゼロックス㈱販売本部 | 小林雅春様・鈴木重雄様・橋本寛敏様 |
| 富士ゼロックス大阪㈱ | 望月俊之様・武田圭三様 |
| 富士ゼロックス兵庫㈱ | 木下俊二様・山口昌則様 |
| 日本オセ㈱西日本営業部 | 野沢佳津夫様・二本松聡様 |
| ㈱フジテックス | 宇戸平典和様 |

| | |
|---|---|
| ㈱ムサシ　大阪支店 | 湯佐和義様 |
| リコーテクノシステムズ㈱ | 安田裕司様 |
| リコージャパン㈱京滋支社 | 松崎直敏様 |
| リコージャパン㈱兵庫支社 | 伊藤繁様 |
| ㈱ワカホシ　大阪営業所 | 菅原朝男様 |

**日本複写産業協同組合連合会役員並びに各地区理事長ご紹介**

| | |
|---|---|
| 北海道複写産業協同組合 | 山田修三様・丸山一彦様 |
| 関東複写センター協同組合 | 斎藤隆正様・細井武様・朝香雅文様・後藤眞様・早坂淳様 |
| アイ・エム・エヌ協同組合 | 上田良信様・出井真之様 |
| 東海複写産業協同組合 | 田本芳樹様・井上洋介様 |
| 富山県情報複写産業協同組合 | 貫場昭夫様 |
| 福岡複写産業協同組合 | 渡邉聖太様 |
| 大分県複写産業協同組合 | 仲摩朋子様・坂本憲治様 |
| 熊本県複写産業協同組合 | 小川裕士様・安武洋一郎様 |
| 沖縄県複写産業協同組合 | 當間眞孝様・徳門真三様 |
| 日本複写産業協同組合連合会　理事 | 鈴木嘉仁様・鈴木千佳子様 |
| 日本複写産業協同組合連合会　事務局 | 浦田由美子様 |

**中締め**

私たち、明日より新楠本理事長の元で後、2 年間役員をさせて頂きます。

50 年の歴史と申しますのは、やはり諸先輩方のお陰、今日お出でになっています旧理事長様の数々の業績のお陰、加えて、各賛助会員の皆様の御蔭でございます。また、ご挨拶して頂けなかった賛助会員様にも本当に感謝いたしております。

50 年の歴史と言えば半世紀でございます。日本一の産業、まずは自動車産業、次に鉄道、土木建設、そしてこれらに寄与してきた複写産業。これからも日本のメーカーの皆様に頑張って頂きたいものです。本日は、北海道から沖縄までご参加頂き有難うございました。短い時間でございましたが、又、色々つたない事もあったかとは思いますが、次回の 60 周年記念式典を楽しみにして、これで御開きとしたいと思います。最後に三本締めでお願いします。

５０周年「感謝の集い」ご出席頂いた組合員名（役員含む）49社　79名

| | 会　社　名 | 感謝の集い出席者名 |
|---|---|---|
| 1 | ㈱旭写真 | 山下正二・安並雅彦 |
| 2 | アサミ写真情報㈱ | 山田伸明・宇山実 |
| 3 | ㈱アピックス | 河村武敏・川野陽一 |
| 4 | ㈱アヤベ | 綾部健司 |
| 5 | 石川特殊特急製本㈱ | 石川彰一・石川敬一・内山喜隆・池田順三 |
| 6 | エイチ・エス写真技術㈱ | 浅見善和 |
| 7 | オーエムカラーコピー㈱ | 小野正治 |
| 8 | ㈱関西青写真 | 巽充雄・六藤正治 |
| 9 | ㈱貴志 | 岡本和士・小林弥 |
| 10 | ㈱京都こぴい | 力石雅弘 |
| 11 | ㈱京阪工技社 | 古澤健次・勝島崇夫 |
| 12 | 光青工業㈱ | 橋本玲子・橋本良平 |
| 13 | コーセイ・プロス㈱ | 田中義雄 |
| 14 | ㈱光楽堂 | 関雅夫 |
| 15 | ㈱宏和 | 日笠宏昭・日高貴史 |
| 16 | ㈱コピーフジタ | 藤田知子・東智秋 |
| 17 | ㈱桜商会 | 石原守・石原晃 |
| 18 | (有)三洋青工所 | 岩橋秀之・岩橋達磨 |
| 19 | ジーベック㈱ | 井上信二 |
| 20 | ㈱菅原商会 | 立岩敏哉・英保義久 |
| 21 | ㈲図面システムセンター | 宮本啓三 |
| 22 | ㈱双陽社 | 米本康平 |
| 23 | ㈱創和情報管理センター | 佐田三郎・今井由美子 |
| 24 | ㈱ダイビス | 満田創・満田麗子 |
| 25 | 大和写真工業㈱ | 鶴井宏尚・安部一哉 |
| 26 | ダイワ写真㈱ | 阪田光彦・松本浩典 |
| 27 | ㈱田村コピー | 福味正俊・北村一喜 |
| 28 | ㈱中央写真 | 木下泰男 |
| 29 | (有)テクノサンクス | 山崎良明・種村潔 |
| 30 | ㈱ナイガイ | 岸本澄男・後藤祐司 |
| 31 | ナカムラシステムサービス㈱ | 中村浩・金平光司 |
| 32 | ㈱南海工業写真社 | 奥野衛 |
| 33 | ㈱日青 | 阪木道生・猪木豊久 |
| 34 | ㈱阪神青写真工業所 | 桑田靭比古 |
| 35 | ㈱光工業写真 | 田畑保英 |
| 36 | ㈱藤島工業所 | 藤島映一 |
| 37 | ㈱フジデジタル | 藤喜志福 |
| 38 | ㈱ブックサービス | 坪井勝 |
| 39 | (有)布施技術社 | 布施康久 |
| 40 | ㈱平安光業 | 北川清和 |
| 41 | マルワ写真工業㈱ | 松本文生・石塚小六 |
| 42 | 三田青写真㈱ | 山本雅和・請川寛治 |
| 43 | (有)南山城複写ｾﾝﾀｰ | 高辻雅 |
| 44 | ムサシ・アイ・テクノ㈱ | 平口恵三・神田啓治・宮田壽也 |
| 45 | 安井工業写真㈱ | 安井大介 |
| 46 | ㈱ヤマイチテクノ | 山脇雅則・日野晋吾 |
| 47 | ㈱淀川工技社 | 楠本雅一・前田忠司 |
| 48 | ㈱ルネック | 佐々木洋之 |
| 49 | ㈱ 六甲商会 | 和田英剛 |

## 第 50 期通常総会の概要

### 理事長挨拶

本日は、第 50 期の通常総会に多数お越し頂きまして誠に有難うございます。今、我々の業界は、非常に厳しい状況に置かれていると思いますし、少しは底を打ってこれから上昇に転じるのかなという今微妙な時期じゃないかなと思っております。この様な折に私たちの協同組合が何をすべきか、求められていることは今までとはずいぶん違うものがあるのではないか思います。

少し昔を思い出して頂きましたら、皆様方がお住まいの町や或いは少し田舎へ行きました村には必ず広場という物があったように思います。そういう広場に、時期折々お正月や、春や夏に色々なイベントやお祭りが行われ、人がお集まりになられて皆で同じ作業をすることの基礎になる様な心の絆を作っていかれたのではないかと考えます。

私たちの協同組合もある意味そういう風な広場の機能を持っているのではないかと思っております。だが、広場ゆえに、広場が自ら何かしてくれる訳ではございません。広場に対して皆様方が色んなご要望を出して頂いて、この広場で色々な事をしたいと言って頂ければ、その広場は非常に活用される訳でございます。

しかし、皆様方が仰らなくても協同組合という広場は何もしないと言っている訳ではございません。その為に皆様方に色々な事をお誘いする為に理事というものがおります。いわば昔でいう村の世話役、町会の役員みたいな者でございます。そういう方がその広場で何をしようかといった事を皆様方の代わりに理事会の中でご発言頂いて１年間色々な事業が推進されて参ります。

本日は丁度私の体制になりまして２年です。今日理事の改選等々が行われます。それにより新たな活動へとまい進して参りたいと思います。でも皆様方のご協力なしではできるものではございません。本総会でご議論頂き、そしてその上で組合の事業計画に沿って更なることをご提案させて頂きますので、ぜひその広場に、一人でも多くの方々が集まって頂きたいと思います。理事役員に大きな喜びになるのではないかと思います。本日はよろしくお願い致します。

## 第 50 期 通常総会 議事の進行

１．開催通知の年月日　　平成 25 年 5 月 10 日
　　及びその方法　　文書を各組合員に発して通知した。
１．開催の日時　　平成 25 年 5 月 29 日　　午後 3 時
１．開催場所　　大阪市北区梅田 3-1-3　ノースゲートビルディング 28F
　　ラグナヴェールプレミア
１．理事・監事の数及び出席理事・監事並びにその出席方法
　　理事数 13 人　　出席理事数　13 人
　　監事数　2 人　　出席監事数　2 人
１．組合員数　　65 人

１．出席者数　　65 人(本人出席 32 人、委任状出席　27 人、書面 6 人)
１．出席理事の氏名　　楠本雅一、福味正俊、桑田靭比古、巽充雄、満田創、河村武敏、佐々木洋之、関雅夫、田中義雄、日笠宏昭、藤田知子、松本文生、山脇雅則
１．出席監事の氏名　　浅見善和、田畑保英
１．議長　　楠本雅一
１．議事録の作成に係わる職務を行った理事の氏名　　巽充雄
１．議事の経過の要領及びその結果

定刻に至り 満田氏の司会で開始。議長に楠本氏が選任され議案の審議に入りました。

**第 1 号議案　第 50 期(平成 24 年度)決算書類承認の件**

司会より、平成 24 年度(自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日)における当組合の事業状況を詳細に報告、下記の書類を提出してその承認を求めました。

１．事 業 報 告 書
２．財産目録
３．貸借対照表
４．損益計算書
５．剰余金処分案

次いで、浅見監事より、「いずれも正確かつ適切であることが認められた旨」の報告があり、満場異議なく承認されました。

**第 2 号議案　第 51 期(平成 25 年度)の事業計画及び収支予算承認の件**

司会より、次年度の事業計画及び収支予算の説明があり、満場一致で承認されました。

**第 3 号議案　加入手数料決定の件**

司会より、加入手数料について前期同様 10,000 円にしたいと説明したところ、満場一致で承認されました。

**第 4 号議案　定款（地区）第３条変更の件**

議長より、本組合の定款第 3 条の変更理由について説明があり、定款 3 条を下記の通り変更したい旨を諮ったところ、満場異議なく承認されました。

（地区）第 3 条　本組合の地区は、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都府および滋賀県の区域とする。

**第 5 号議案　役員改選の件**

議長より、役員改選の年度であることの説明があり、その後司会より、選挙の方法として指名推薦制を取りたい旨の説明をしたところ、一同これに賛成しました。議長は、指名推選制の賛成を得たので選出方法を諮ったところ、「議長一任」との声があり、選考委員に桑田靭比古、巽充雄、佐々木洋之を指名し、選考委員は別室において選考に入りました。選考の結果、次の者が指名推選された旨、選考委員長から報告されました。

理事　楠本　雅一　　理事　藤田　知子
同　　福味　正俊　　同　　関　　雅夫

| | | | |
|---|---|---|---|
| 理事 | 桑田　靭比古 | 理事 | 日笠　宏昭 |
| 同 | 巽　充雄 | 同 | 田中　義雄 |
| 同 | 満田　創 | 同 | 佐々木　洋之 |
| 同 | 山脇　雅則 | 監事 | 浅見　善和 |
| 同 | 河村　武敏 | 同 | 田畑　保英 |

議長は、上記被指名人をもって当選人とするかどうかを諮ったところ、全員異議なく可決承認され、当選者は、即時就任を承諾しました。

以上をもって第 50 期通常総会の議案全部の審議が終了しましたので、午後４時閉会となりました。以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事がこれに記名押印致します。

平成 25 年 5 月 29 日　　近畿複写産業協同組合

**ご出席頂いた組合員様及び役員・事務局一同集合写真**

## 組合からのお知らせ

### 1. 会員異動について

＜代表者様ご変更のご案内＞

平成２５年５月　　ムサシ・アイ・テクノ株式会社　代表者変更

代表取締役　大原　篤範様　⇒　平口　恵三様

### ２．平成 24 年度教育事業

☆　D.D.S.S 組織・人材活性化研究会　☆（ＦＡＸご案内済分）

日　時　：平成 25 年 6 月 13 日（木）16：00～18：10

講　師　：富士ゼロックス総合教育研究所　山崎紅氏

場　所　：富士ゼロックス㈱　ドキュメント・コア・オオサカ 2F ｾﾐﾅｰﾙｰﾑ

大阪市中央区本町３丁目５番７号

テーマ　：「経営環境・戦略の『見える化』－ロジカルシンキングの活用―」

参加費　：１,000 円/人

応募締切：6 月 12 日

# 組合日誌

## 平成２５年５月２１日第５４２回理事会を開催しました。

１．報告事項（各担当理事）
１―　１　第541回理事会議事録の報告（松本理事・巽副理事長）
　　承認した旨報告され、署名されました。
１－　２　事務局よりお知らせ（小野事務局）
　　・組合員ｺﾋﾟｰｾﾝﾀｰ移転等報告＜資料1＞
　　資料の下段に㈱ﾑｻｼ・ｱｲ･ﾃｸﾉと挿入ください。
１－　３　教育事業について　5/17リコージャパン様打合せ結果（河村理事）＜資料2＞
　　昨年度同様若手社員研修会を開催したいと思います。
　　８月２３・２４日　リコー本町橋事業所　７／１０情報定期便にてご案内します。
　　理事の方々のご参加をお願い致します。
２．協議事項（各担当理事）
２－　１　総会準備と感謝の集いについて（楠本理事長・福味副理事長・巽副理事長
　　・満田専務理事・河村理事・日笠理事・小野事務局）＜資料3＞
　　＊２案あるうちの、「乾杯後、すぐ複写連関係及び賛助会員様のご紹介をする方」
　　を採用します。
　　＊5/24に進行係及びバンド担当及び事務局で最終進行の打ち合わせを致します。
　　＊出欠について未回答の組合員担当理事は、組合員へご連絡をお願いします。
　　＊「感謝の集い」の参加者が１５５名となっています。座席について、小野事務局にて
　　思案後、進行打ち合わせ時確認頂き、最終理事長が確認します。
　　レストラン側に田中理事・藤田理事より、「両理事関係方に着席して頂いてよいです」
　　とご意見頂きました。
　　＊当日の男性役員の服装について
　　ダークスーツ、ホワイト系シャツ、黒い靴、ネクタイ着用
　　＊式典会費について、３名来られる、ムサシ・アイ・テクノ様は藤島相談役が
　　石川特殊特急製本様は小野事務局が会費を徴収します。
　　＊複写連関係は楠本理事長へ領収書を預け、複写連にて取りまとめて頂きます。
　　＊コンパニオンは乾杯少し前から手土産配布まで入って頂きます。レストラン側へは
　　１テーブルに１人ついてもらう配置とします。
２－　２　次年度理事について（松本理事）
　　５０期で辞任いたします。
　　送別会については、１２月の懇親ゴルフコンペで致します。
２－　３　慶弔規定について（小野事務局）＜資料4＞
　　ブックサービス坪井様が心筋梗塞で入院された旨お聞きしました。
　　規定とおり、ご本人に確認できる書類を頂き、お見舞い金を出金いたします。
　　今年度は規定内容などの見直しをしていきたいと思います。
３．４月度会計報告（小野事務局）＜資料5＞
　　４月度は売上が昨年より減少しました。諸費については昨年とほぼ横ばいです。
４．その他
５．次回三役会・理事会等日程（できるだけ出席をお願いいたします）
　　理事会予定　　平成　25年　7月4日　（木）　15：30　～17：30

## 平成２５年５月２９日第５４３回理事会を開催致しました。

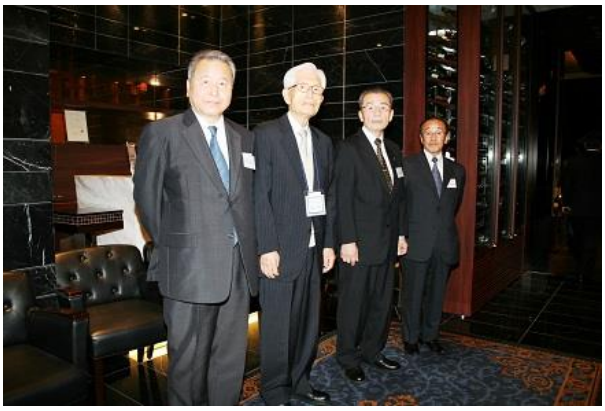
第1号議案　　理事長、副理事長、及び専務理事選任の件
互選の結果,理事長に楠本雅一、副理事長に福味正俊、副理事長に桑田靭比古、副理事長に巽充雄、専務理事に満田創が選任された。被選者は各々即時就任を承諾した。

組合日誌 平成２５年５月分行事


| | |
|---|---|
| ☆5月21日第542回理事会が組合会議室で行われた。 | P-14 |
| ☆5月29日第50期通常総会がラグナヴェールプレミアにて行われた。 | P-11 |
| ☆5月29日50周年「感謝の集い」がラグナヴェールプレミアにて行われた。 | P- 1 |
| ☆5月29日第543回理事会がラグナヴェールプレミアにて行われた。 | P-14 |


## 50 周年「感謝の集い」ご様子

歴代理事長がお出迎え



ご歓談の様子

賛助会員様も遠くからお越しくださいました。

**ご参集頂きまして　誠に有難うございました。お楽しみ頂けましたでしょうか。**

**数々の不手際のありました事　心より　お詫び申し上げます。　　役員・事務局一同**

編集後記

50 年前の我社って？　私自身中途入社なので全く知る由もない。そこで一番の古株に作業内容を聞いてみた。当時は、青焼きと陽画焼きが中心で、お客様に応じて焼き分けていた。また第 2 原図は，ジアゾではＩＺＥと、銀塩処理による密着焼きでＣＨに焼き付けていた。極めつけは、ＰＰＣにあたる機械が存在しており、それは現在のＰＰＣ複写機の要素をレール上に、直線に配列していたそうである。今でもその一部であるガス定着器が残っている(大半は、何も知らなかった私自身の手で処分された！　今から思えば残念なことをしたものである)。それには「富士ゼロックス　１３８５」と記されていたので、調べてみると「プロトタイプの手で複写する器具・Flatplate1385」で１枚の処理に６～７分を要したそうである。亡き先代が「忙しかった、だけど頭数が多く、儲からんかった」と当時を振り返っていたことを思い出しました。しかし乍ら今は・・・何をか況や。　(記・桑田)

50 周年「感謝の集い」へお運び頂きまして有難うございました。つたない司会を務めたり、席では、演奏があまり聞こえずがっかりしたり、ＤＶＤの機械が故障するハプニングに落ち込んだり、帰りにお疲れ様の言葉で元気復活したり、悲喜こもごもでした。反省を生かし、いざ 60 周年へ向け旅立ちです。(記　小野)